

# 牧羊ひろば



## 福岡教会(油山シャローム教会) 教会学校

「御言を宣べ伝えなさい。時  
が良くても悪くても」

### Ⅱ テモテ4・2

#### ●はじめに

椿油が採れる椿の木がたく  
さん自生していたことから、  
山は油山と呼ばれるようにな  
ったという…、その油山の麓  
に私たちの教会、油山シャロ  
ーム・チャペルがあります。  
緑と水に囲まれた自然豊かな  
地です。今では教会の周り  
には住宅が建ち並んでいます。  
一九七二年の開拓当初から  
教会学校の働きは熱心であつ  
たと聞いています。教会学校  
を通して多くの受洗者が起こ  
されまし、ある時期には  
五十人以上の生徒たちが出席  
していました。

しかし、生徒が一人も来ず、  
教師だけで教会学校の礼拝  
を守っていた時期もありまし  
た。そのような現状

を横田武幸牧師先生に訴えまし  
たところ、牧師先生は「今は  
静まりの時、祈りの時です  
ね」とお語りになりました。  
子どもが送られてこない時  
には、失望落胆してしまいま  
すが、実はこのような時も神  
様の恵みの時、祝福の時なの  
だと悟りました。なぜなら、  
神様に祈ること、信頼すること  
待ち望むことを教えられた  
からです。そして「時が良  
くても悪くても…」とのみ  
言葉に励まされて、教会学  
校のご奉仕が続けられてきた  
ことは本当に感謝です。

神様の恵みにより、最近また  
教会学校が子どもたちで賑  
わうようになってきていま  
す。教会が子どもたちの声  
で賑わうのは嬉しいもので  
す。

最近の教会学校の様子と  
教会学校を支える教会の取  
組み等を紹介させていただきます。

#### ●教会学校の様子

日曜の朝八時四十五分、教  
師たちが心を合わせて子ども  
たちのため、奉仕者のために  
祈ります。九時に教会学校  
が始まります。現在出席者  
は幼稚科七、八十名、小学  
科十、十三名、中学・高校  
科五名です。ほとんどがキ  
リスタン家庭のお母さんが  
クリスチャンの子どもたち  
です。礼拝では、

神様に賛美をささげ、牧羊者にそってメッセージが語られ、み言葉をいただき、感謝の祈りと献金をおささげします。

分級では、幼稚科はゲームや工作などを取り入れながら楽しく行っています。小学科は子どもたちの話に耳を傾け信頼関係を深めながら、み言葉を生活の中でどのように適用していくかを心がけています。十時過ぎに分級を終え、教師たちは再度集まり祈って閉じます。

主日ごとの教会学校では何か特別のプログラムがあるわけではありません。教会学校の働きは種<sup>たね</sup>時<sup>とき</sup>きのようなものです。成長させてくださるのは神様です。そのことを信じ、愛と忍耐をもって祈りながらご奉仕させていただいています。

### ●教会学校を支える教会の取り組み

①子どもサポーター 十時三十分より主日礼拝が始まります。子どもたちもお父さん、お母さんと一緒に主日礼拝にも出席します。子どもも大人も一緒に礼拝するのが、私たちの教会の伝統であり、それを大切にしています。しかし子どもですから、時には大きな声を出したり、動き回ったりします。そこで信徒の中から子どもサポーターを募り、



チルドレンズタイム

子どもたち（特に求道中の）がお父さんやお母さんと一緒に礼拝できるよう見守り手助けしています。「子どもが騒いでも心配せずに安心して礼拝の場に連れて来てください」と積極的に声をかけ、子どもたちを教会全体で受け入れ、温かい目で見守っています。子どもたちはその中で成長し、礼拝者として整えられています。高校生たちは礼拝の奉仕の一部を担って前列部の席について礼拝をささげています。幼い時から子どもたちを聖なる場に連れて来ることは、信仰継承にも大いに役立っていると思います。

### ②チルドレンズタイム

主日礼拝の中で子どもたちを前に集め、牧師先生が十分程度わかりやすくその日の礼拝メッセージを子ども向けに語られます。子どもたちは喜んでメッセージに耳を傾けています。

教会学校にきていない子どもたちが、チルドレンズタイムをきっかけに教会学校に来てくれるように願っています。

### ③トドラ〜ズクラブ

地域のお母さん方のために、未就園児の子育て支援の活動を月一回行



教会学校クリスマスツリー

とえ出席する生徒が一人であっても、その一人の魂のために全力を注いでご奉仕がなされてきました。背後には「ベウラの園」の六人のお婆様ばあさま

●野芥のけシャローム教会の土曜学校  
一九九二年、高齢者グループホーム「ベウラの園」に隣接して、野芥シャローム・チャペルが建てられました。そして信徒が中心となって野芥土曜学校が始まりました。た



トドラ～ずクラブ

っています。歌、手遊び、絵本の読み聞かせ、お母さんのための子育てに関するメッセージタイムなどがあります。またお母さんたちの楽しい交流の場ともなっています。この働きを通して少しずつ教会学校につながる方も起こされてきています。



クリスマス会・ダンス練習

●主な年間行事  
①春のキャンプ 教会学校に来ている子どもたちを対象として、信仰の成長のためのプログラムを組んでいます。

ども三人を連れて教会学校と主日礼拝に通っておられます。そして一年たった昨年の子どもクリスマス会の前日、校門の前でトラクト配布の奉仕を自ら進んでくださったたり、ゲームを担当してくださったことは、私たちみんなの大きな喜びでした。主の御名を崇めます。



クリスマス降誕劇

方の篤い祈りがありました。（そのお婆様方も今は全員天に凱旋がいせんなさいました。）

そして、ついに土曜学校のクリスマス会に来た子どものお母さんが求道を始められ、昨年受洗されました。現在そのお母さんは救いの喜びに満たされ、子



春のキャンプ

**②夏のキャンプ** 近隣の子どもたちや未信者の家庭の子どもたちにも声をかけて参加を募っています。教会学校の生徒の中から受洗の決心をする子どもが起こされています。

**③クリスマス会** 近隣の小学校五校に案内チラシを配布して広

く誘っています。昨年のクリスマス会には子どもたちが五十名集まりました。教会学校の子どもたちには、クリスマス会の企画にも加わってもらっています。

**④お誕生会** 三ヶ月に一度、教会学校の中で行っています。誕生月の子どもたちはケーキを前に嬉しそうです。

### ●中高校の活動

中高校のレギュラーメンバーは五人ですが、それに四人の教師が加わって、温かい交わりの中で、日曜日の朝九時十分から十時まで、聖書を一緒に学んでいます。特に昨年の六月から、コーヒープレイクというグループ聖書研究を始めました。聖書のテキストを読んだ後、担当の教師があ



中高生バンド

らかじめ用意していた質問をもとに、生徒たちが自ら言葉の真理に気づいていく学びです。最初は生徒が口を開くだろうかと心配した面もありましたが、始めてみると、教師たちが思っていた以上に生徒たちはしっかりとみ言葉を理解し、それより深く理解する助けにもなっています。



人形劇「ヨナ(現代版)」

最初に取り上げたのは、ヨナ書でした。それを全部学び終わった時、そこからヨナ書の現代版の人形劇を生徒たちが中心となつてつくりました。「聖イブラエル高校のヨナ夫くん」が、校長先生



中学生クラス クリスマス高齢者訪問

ることを、教師たちはうれしく思い、主に感謝いたしております(現在は、創世記のヨセフの生涯を学んでいます)。定期的な活動としては、月一回日曜日の午後に中高生会があり、ここでは特に交わりを中心とした楽しい時をもったり、特別なイベントの計画を立てたりしています。昨年はパーベキュー大会やそうめん流しの会を開いて、心もお腹も一杯に満たされる時をもちました。背後で準備のために労してくださっている先生たちに、感謝しています。

昨年の中高生のクリスマス会では、クリスマスチャンホームに招待していただき、文字どおりアットホームなクリスマス会となりました。おいしいご馳走をいただいた後、高齢や病気のために教会に来ることのできない方を訪問し、ク

の願いを振り切つて、樽志市行きのバスにうまく乗り込んだものの、そこに待つていたのは…!? 秋の教会の収穫感謝パーティで上演したところ、大好評を博し、再演の要望が届いています。生徒たちが生き生きとみ言葉を土台にしながら歩もうとしてい

リスマスソングのプレゼントをさせていただき、その方のために生徒たちがお祈りをささげました。

また高校生たちは、教会全体の奉仕にも加わっています。ある生徒は礼拝の賛美チームで奉仕をしたり、他の生徒たちはパワーポイントの奉仕をしています。このように、主を愛して、与える喜び、仕える喜びにますます満たされる中高科でありたいと願っています。

## ●教師会など

毎月第一日曜の午後に教師会をもち、子どもたちのために学び、祈り、活動について話し合っています。

毎月第四土曜の午後にはメッセーじの学び会をしています。幼稚科・小学科の責任者であるユン宣教師のご指導のもと、「牧羊者」を用いて一ヶ月分のメッセーじ箇所を具体的に学んでいます。教師自身がみ言葉の養いを受け、み言葉への理解が深まり、さらに子どもたちにわかりやすくメッセーじを語ることができるよう訓練していただいています。大変恵まれる時です。

教師の中には、いつもはつらつとして若々しく、信仰と知恵に満ちた田中郁子先生がいます。実はこの姉妹はなん



田中郁子先生

と九十才の現役教会学校教師なのです！長年、教会学校のご奉仕を続けてこられ、今もメッセージの御用をされています。

教師たちは「わたしの小羊を飼いなさい」とお声をかけて召してくださいました主を信頼し、主と主の教会学校にお仕えしていききたいと祈り願っています。

(横田法路 服部祥子)

「だから、愛する兄弟たちよ。堅く立つて動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあつては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである」。

I コリント 15・58

## 「おわりに」

『牧羊者』二〇一一年度第I巻をお届けできますことを感謝します。執筆者の方々には、年末年始、クリスマスにあわただしい中、貴重な時間を割いて執筆していただき、心から感謝いたします。今回は、新しい年度のカリキュラム解説と、教師養成講座「今、求められるCS教師」を掲載しました。また、「牧羊ひろば」では、福岡教会の教会学校の歩みを紹介していただきました。

終わりに今号の執筆者、奉仕者を紹介いたします。

聖書講解	福井文彦師	高橋頼男師	金井信生師
研究資料	井上義実師	宮澤清志師	中島啓一師
メッセージ例	飯田勝彦師	和田治師	水野晶子師
	松浦みち子師		
ワーク(A)	吉田美穂師	鎌野幸師	
(B)	野勢かほる師	竹崎光則師	
(C)	小泉創師	田代美雪師	
(D)	上森恭子師	杉山俊一師	
中高校へのヒント	石田高保師		
子ども聖書日課	小野淳子師	土屋直子師	藤井洋美師
フラッシュカード	丹羽遥姉		
イラスト	丹羽遥姉		
ワープロ打ち込み	楠淳子師	長尾明美師	
校正	長田栄一師	光田隆代師	加藤清師
	長尾秀紀師	長尾明美師	

また、陰で労してくださいました各師と兄弟姉妹、ワーク印刷と発送のベラカ出版、印刷のあくもと菱三印刷に心から感謝いたします。

(長尾秀紀)

## 聖書教育教案誌 牧羊者

二〇一一年度 I 巻

二〇一一年四月一日発行

発行所 有限会社 ベラカ出版

企画監修 日本イエスキリスト教団教会学校局

神戸市兵庫区塚本通三―三―一九

電話 〇七―五七五―五五一一

FAX 〇七―五七五―六六一一

印刷所 菱三印刷株式会社

電話 〇七―五七六―三九六一

\*日本聖書協会『口語訳聖書』使用許諾済み